【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-158157(P2005-158157A)
【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2005-023
【出願番号】特願2003-395828(P2003-395828)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　27/02　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/262　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　27/02　Ａ
Ｇ１１Ｂ　20/10　Ａ
Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｇ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３２１Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/262
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツを作成するコンテンツ作成装置であって、
前記コンテンツに含まれる第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出手段と、
前記第１のシーンに含まれるオブジェクトの中から削除対象とするオブジェクトを選択する選択手段と、
前記選択されたオブジェクトの削除する削除手段と、
前記削除手段における前記オブジェクトの削除処理を、前記第１のシーンの再生が可能となるまで繰返す制御手段とを備える、コンテンツ作成装置。
【請求項２】
前記第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加手段をさらに備え、
前記算出手段は、前記オブジェクトが追加された前記第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出し、
前記算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、その旨を通知する第１の通知手段をさらに備え、
前記制御手段は、前記選択手段における削除対象とするオブジェクトの選択処理と、前記削除手段における前記選択されたオブジェクトの前記削除処理とを、前記選択されたオ

ブジェクトが削除された前記第１のシーンの再生に必要なメモリ量が前記しきい値以内になるまで繰返す、請求項１に記載のコンテンツ作成装置。
【請求項３】
前記削除手段における前記選択されたオブジェクトの削除処理に先立って、前記選択されたオブジェクトが削除されたときの前記第１のシーンの再生に必要なメモリ量を通知する第２の通知手段をさらに備える、請求項１に記載のコンテンツ作成装置。
【請求項４】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツを作成するコンテンツ作成装置であって、
前記コンテンツに含まれる編集対象である第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加手段と、
前記オブジェクトが追加された第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する第１の算出手段と、
前記算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、前記第１のシーンに含まれる各オブジェクトの再生時間に基づいて、前記第１のシーンから区切りを検出する検出手段と、
前記区切りで前記第１のシーンを第１のシーンと第２のシーンとに分割する分割手段と、
前記検出手段における区切りの検出処理と、前記分割手段における分割処理とを、前記分割された第１のシーンと第２のシーンとの再生に必要なメモリ量が前記しきい値以内になるまで繰返す制御手段とを備える、コンテンツ作成装置。
【請求項５】
前記検出手段において前記第１のシーンから検出された区切りを選択可能に提示する提示手段と、
前記提示された区切りの中から前記分割手段で分割する区切りを選択する選択手段とをさらに備える、請求項４に記載のコンテンツ作成装置。
【請求項６】
前記しきい値は、コンテンツ再生装置の再生用メモリのメモリ量に基づいて定められる値である、請求項１～５のいずれかに記載のコンテンツ作成装置。
【請求項７】
前記編集された第１のシーンを保存するシーン保存手段と、
前記第１のシーンを含む前記コンテンツ全体をファイルとして保存するファイル保存手段と、
前記複数のシーン間の任意の位置に、指定されたシーンを挿入するシーン挿入手段と、
前記複数のシーンのうちの指定されたシーンを削除するシーン削除手段との少なくとも１つをさらに備える、請求項１～６のいずれかに記載のコンテンツ作成装置。
【請求項８】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツを再生するコンテンツ再生装置であって、
前記コンテンツに含まれる第１のシーンの開始アドレスと、前記第１のシーンの次に再生すべき第２のシーンへのリンク情報とを含むシーンテーブルを作成するシーンテーブル作成手段と、
前記第１のシーンを実行用メモリ上で再生する第１の再生手段と、
前記作成されたシーンテーブルにしたがって、前記第２のシーンの開始アドレスを取得する第１の取得手段と、
前記第１のシーンの再生終了後、前記シーンテーブルを参照して、前記実行用メモリ上から前記第１のシーンを削除して、前記実行用メモリ上で前記第２のシーンを再生する第２の再生手段とを備える、コンテンツ再生装置。
【請求項９】
前記第１のシーン中には、その時点の再生中に再生シーンをジャンプさせる命令が含まれ、

前記命令にしたがって、ジャンプ先のシーンの開始アドレスを取得する第２の取得手段と、
前記ジャンプ先のシーンを再生する第３の再生手段とをさらに備える、請求項８に記載のコンテンツ再生装置。
【請求項１０】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツの作成処理をコンピュータに実行させるコンテンツ作成プログラムであって、
前記コンテンツに含まれる編集対象である第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加ステップと、
前記オブジェクトが追加された第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出ステップと、
前記算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、その旨を通知する通知ステップと、
前記第１のシーンに含まれるオブジェクトの中から削除対象とするオブジェクトを選択する選択ステップと、
前記選択されたオブジェクトを削除する削除ステップと、
前記選択ステップと前記削除ステップとを、前記選択されたオブジェクトが削除された前記第１のシーンの再生に必要なメモリ量が前記しきい値以内になるまで繰返す制御ステップとを実行させる、コンテンツ作成プログラム。
【請求項１１】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツの作成処理をコンピュータに実行させるコンテンツ作成プログラムであって、
前記コンテンツに含まれる編集対象である第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加ステップと、
前記オブジェクトが追加された第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出ステップと、
前記算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、前記第１のシーンに含まれる各オブジェクトの再生時間に基づいて、前記第１のシーンから区切りを検出する検出ステップと、
前記区切りで前記第１のシーンを第１のシーンと第２のシーンとに分割する分割ステップと、
前記検出ステップと前記分割ステップとを、前記分割された第１のシーンと第２のシーンとの再生に必要なメモリ量が前記しきい値以内になるまで繰返す制御ステップとを実行させる、コンテンツ作成プログラム。
【請求項１２】
時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツの再生処理をコンピュータに実行させるコンテンツ再生プログラムであって、
前記コンテンツに含まれる第１のシーンの開始アドレスと、前記第１のシーンの次に再生すべき第２のシーンへのリンク情報とを含むシーンテーブルを作成するシーンテーブル作成ステップと、
前記第１のシーンを実行用メモリ上で再生する第１の再生ステップと、
前記作成されたシーンテーブルにしたがって、前記第２のシーンの開始アドレスを取得する第１の取得ステップと、
前記第１のシーンの再生終了後、前記シーンテーブルを参照して、前記実行用メモリ上から前記第１のシーンを削除して、前記実行用メモリ上で前記第２のシーンを再生する第２の再生ステップとを実行させる、コンテンツ再生プログラム。
【請求項１３】
請求項１０または１１に記載のコンテンツ作成プログラムを記録した、コンピュータ読取可能な記録媒体。
【請求項１４】

請求項１２に記載のコンテンツ再生プログラムを記録した、コンピュータ読取可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記目的を達成するために、本発明のある局面に従うと、コンテンツ作成装置は、時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツを作成するコンテンツ作成装置であって、コンテンツに含まれる第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出手段と、第１のシーンに含まれるオブジェクトの中から削除対象とするオブジェクトを選択する選択手段と、選択されたオブジェクトの削除する削除手段と、削除手段におけるオブジェクトの削除処理を、第１のシーンの再生が可能となるまで繰返す制御手段とを備える。
また、好ましくは、コンテンツ作成装置は、第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加手段をさらに備え、算出手段は、オブジェクトが追加された第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出し、算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、その旨を通知する第１の通知手段をさらに備え、制御手段は、第１のシーンに含まれるオブジェクトの中から削除対象とするオブジェクトを選択する選択手段と、選択されたオブジェクトを削除する削除手段と、選択手段における削除対象とするオブジェクトの選択処理と、削除手段における選択されたオブジェクトの削除処理とを、選択されたオブジェクトが削除された第１のシーンの再生に必要なメモリ量がしきい値以内になるまで繰返す。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ作成プログラムは、時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツの作成処理をコンピュータに実行させるコンテンツ作成プログラムであって、コンテンツに含まれる編集対象である第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加ステップと、オブジェクトが追加された第１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出ステップと、算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、その旨を通知する通知ステップと、第１のシーンに含まれるオブジェクトの中から削除対象とするオブジェクトを選択する選択ステップと、選択されたオブジェクトを削除する削除ステップと、選択ステップと削除ステップとを、選択されたオブジェクトが削除された第１のシーンの再生に必要なメモリ量がしきい値以内になるまで繰返す制御ステップとを実行させる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
本発明のさらに他の局面に従うと、コンテンツ作成プログラムは、時系列的に区切られた複数のシーンから構成されるコンテンツの作成処理をコンピュータに実行させるコンテンツ作成プログラムであって、コンテンツに含まれる編集対象である第１のシーンに対して、オブジェクトを追加するオブジェクト追加ステップと、オブジェクトが追加された第

１のシーンの再生に必要なメモリ量を算出する算出ステップと、算出されたメモリ量がしきい値を超える場合に、第１のシーンに含まれる各オブジェクトの再生時間に基づいて、第１のシーンから区切りを検出する検出ステップと、区切りで第１のシーンを第１のシーンと第２のシーンとに分割する分割ステップと、検出ステップと分割ステップとを、分割された第１のシーンと第２のシーンとの再生に必要なメモリ量がしきい値以内になるまで繰返す制御ステップとを実行させる。